多施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年10月16日

【研究課題名】

　日本集中治療医学会データベースおよびDPCデータを用いた診療の質指標測定

検証研究

【研究期間】

倫理申請承認後、2023年3月31日まで

【研究対象】

集中治療室に2017年4月1日から2018年3月31日の間に入室した患者

【研究目的・意義】

　既存電子データである、DPCデータ及び、日本集中治療医学会が運営している日本ICU患者データベース(Japanese Intensive care Patient Database: JIPAD)のデータを用いて、QIが測定可能であるか、また測定結果の妥当性について検証する。加えて、診療の質向上につなげるために、QIと患者アウトカムの関連についても検証する。既存電子データを用いてQIを測定可能であることが実証されれば、診療現場に負担をかけずQIを測定することができ、本邦の集中治療診療の質向上に寄与できるものと期待される。

【研究方法】

下記【研究に用いられる試料・情報の種類】のデータを用いて日本集中治療医学会で開発した診療の質指標の測定可能性、および、測定結果の妥当性を検証する。

**・測定する診療の質指標：**

1．ICU死亡率

2．病院死亡率

3．30日死亡率

4．標準化死亡率

5．ICU再入室率

6．病床利用率

7．8日以上のICU滞在率

8．ICU滞在日数

9．人工呼吸器使用期間

10．長期人工呼吸器管理

11．術後呼吸不全発症割合

12．早期経腸栄養実施割合

13．ストレス潰瘍予防実施割合

14．人工呼吸管理下におけるストレス潰瘍予防実施割合

15．抗生剤投与前の血液培養実施割合

16．深部静脈血栓予防実施割合

17．早期リハビリテーション実施割合

18．敗血症における目標ヘモグロビン

19．血糖コントロール

　　上記に加えて、専門家が重要と考える質指標

【研究に用いられる試料・情報の種類】

JIPADデータ：研究用患者ID、年齢、入院日、退院日、入室日時、退室日時、人工呼吸器開始・終了日時、病名テキスト、病名コード、APACHE IIスコアと関連するデータ（バイタルデータ、血液検査データ）、退室時転帰、退院時転帰等。

DPC様式1：研究用患者ID、年齢（提出前に生年月日と入院日より変換される）、入院日、

入院日、退院時転帰、病名、ICD-10コード、手術日、手術点数表、身長、体重等

DPC Dファイル：研究用患者ID、入院日診断群分類番号等

DPC EFファイル：研究用患者ID、入院日、レセプト電算処理コード、実施年月日等

DPC Hファイル：研究用患者ID、入院日、人工呼吸管理、実施年月日等

検査データファイル：研究用患者ID、検査実施日、入院中に施行された検査結果

【外部への試料・情報の提供】

　　匿名化された医療データは、各施設から磁気・光学媒体で提供され、代表研究機関に集約して保管する。

【個人情報の取扱い】

データは専用のアプリを用いて、匿名化処理が行われる。本研究ではカルテレビューを行う必要があり、データ確認の為に対応表を有した匿名化が行われる。対応表は各参加施設内で厳重に保管され外部に持ち出されることはない。データは磁気・光学媒体で提供され、研究代表機関に集約する。

【研究組織】

**実施責任者**：

　氏名　熊澤　淳史

　所属　堺市立総合医療センター　集中治療科

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：集中治療部　担当者名：中山泉

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）